

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	製品企画Ⅱ	科目コード	6190
シラバスコード	197C6B-6190		
授業時数/週	3時間/週		
開講年次・学期	2年次 前期・後期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	前田 基之		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程	企業等と連携した実習・演習	連携企業等	カンマグラム
備考			

■科目詳細情報

授業概要	照明器具や家具などインテリア製品のデザイン制作を行う。 CADを活用した応用的な造形演習を通し、より高度なデザイン制作に必要な知識・技術を身につけ、アイデア展開・試作を繰返し行い実際の製品制作までを行う。
到達目標（前期）	3次元CADや2次元CADを活用した家具製作（チェア）の手法について学び、CADを活用して描いた立体造形を実用可能な家具として機能させるために必要な手法を身につける。イメージした立体造形物を実際の家具製品として完成させる。
到達目標（後期）	様々な素材を活用した立体造形について学び、立体造形を素材の特長を活かした機能的な製品として具現化させるために必要な手法を身につける。イメージした立体造形物を実際の照明器具製品として完成させる。
授業方法	立体造形演習課題を通し手法を学び、制作課題の中で実際の製品を製作する。
実践的教育の内容	CADを活用した照明器具や家具などインテリア製品の企画デザイン制作に関する応用的な技術や知識を、試作を繰返し行い試行錯誤の中で具現化することを演習や実習の中で教授する。
評価方法（前期）	制作課題評価 演習課題毎の成果物完成度評価40%、制作課題の製作図面完成度評価30% 制作課題の製品としての完成度評価40%
評価方法（後期）	制作課題評価 演習課題毎の成果物完成度評価40%、制作課題の製作図面完成度評価30% 制作課題の製品としての完成度評価40%
授業外における学修	市場調査・フィールドワーク・展示会見学・評価会実施など
授業計画（前期）	第1週 造形演習 参考モデル1/6模型の製作 椅子の構造や座位について
	第2週 造形演習 制作条件に収まる椅子の1/6模型製作 加工条件について
	第3週 造形演習 製作条件・加工条件に収まる1/6模型製作 加工データ作成について
	第4週 造形演習 製作条件・加工条件に収まる3次元CADモデルと加工データの作成
	第5週 制作実習 チェア制作 スケッチ及び模型製作によるアイデア展開
	第6週 制作実習 チェア制作 改善1 CADによる製作図面作成
	第7週 制作実習 チェア制作 CADによる製作図面作成
	第8週 制作実習 チェア制作 レーザー加工による試作品の加工・組立
	第9週 制作実習 チェア制作 改善1 スケッチ及び模型製作によるアイデア展開
	第10週 制作実習 チェア制作 改善1 CADによる製作図面作成
	第11週 制作実習 チェア制作 改善1 レーザー加工による試作品の加工・組立
	第12週 制作実習 チェア製品制作 CADによる製作図面作成
	第13週 制作実習 チェア製品制作 切削加工データ作成
	第14週 制作実習 チェア製品制作 部材の加工・組立仕様の確認
	第15週 制作実習 チェア製品制作 加工部材の確認表面仕上げ
	第16週 制作実習 チェア製品制作 製品組立
	第17週 制作実習 チェア製品制作 製品撮影 製品パネル作成

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	造形演習 板材を使用したシェード構造の製作
	第19週	造形演習 シート材を使用したシェード構造の製作
	第20週	造形演習 棒材を使用したシェード構造の製作
	第21週	造形演習 素材を組合わせたシェード構造の製作
	第22週	制作実習 照明器具制作 スケッチによるアイデア展開
	第23週	制作実習 照明器具制作 模型やCADによるアイデア展開
	第24週	制作実習 照明器具制作 作図・レーザー加工データ作成
	第25週	制作実習 照明器具制作 組立
	第26週	制作実習 照明器具制作 改善1 アイデア展開
	第27週	制作実習 照明器具制作 改善1 作図・レーザー加工データ作成
	第28週	制作実習 照明器具制作 改善1 組立
	第29週	制作実習 照明器具制作 改善2 アイデア展開
	第30週	制作実習 照明器具制作 改善2 作図・レーザー加工データ作成
	第31週	制作実習 照明器具制作 改善2 組立
	第32週	制作実習 照明器具制作 製品撮影 製品パネル作成
第33週	制作実習 照明器具制作 製品パネル完成	
第34週	作品評価会 照明器具・チェア作品の評価会実施	
教科書・教材	なし	
参考文献・資料	特になし	
履修上の留意点	作品制作では刃物など工具を使用することがあるため、安全に留意して作業をおこなうこと。	